

PRIMERGY RX200 S3 使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY RX200 S3 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバをご使用になる上での注意および追記事項がございますので、本書をよくお読みの上、ご使用願います。

平成 18 年 11 月
富士通株式会社

1	メインボードの保守交換後の動作について	3
1.1	Integrated Mirroring SAS について	3
1.1.1	初期化中の留意事項について	3
1.1.2	初期化の完了時間の目安について	4
1.2	リモートマネジメントコントローラ (iRMC) の設定について	4
2	コンソールリダイレクションについて	5
3	USB DVD/CD-ROM ドライブ (FMV-NCB52) から Windows 2000 Server SP4 適応済 CD-ROM を使って OS をインストールする場合の留意点	5
	留意点	5
	ServerStart を使用した OS インストール手順	6
	手動での OS インストール手順	6
4	「PRIMERGY RX200 S3 ユーザーズガイド : B7FH-4351-01-00」 についての更新・訂正	8
1 章	「1.1 RX200 S3 のご紹介」 (関連ページ 16)	8
2 章	「2.1.1 内蔵オプションの取り付け」 (関連ページ 46)	8
2 章	「2.2 インストール方法の選択」 (関連ページ 49)	8
3 章	「3.2.7 OS のインストール開始」 手順 3~5 (関連ページ 84)	9
3 章	「3.3.4 OS のインストール開始」 手順 5~7 (関連ページ 92)	9
3 章	「3.4.5 OS のインストール開始」 手順 4~6 (関連ページ 101)	9
4 章	「4.3.1 Windows Server 2003 x64 のインストール」 手順 5.3 (関連ページ 141)	10
4 章	「4.3.2 Windows Server 2003 のインストール」 手順 5.3 (関連ページ 144)	10
4 章	「4.3.3 Windows 2000 Server のインストール」 手順 5.3 (関連ページ 147)	10
5 章	「5.3.1 BIOS 情報の退避方法」 (関連ページ 173)	11
5 章	「5.3.2 BIOS 情報の復元」 (関連ページ 174)	11
5 章	「5.6.3 VLAN の設定手順」 手順 6 (関連ページ 196)	11
5 章	「5.7.4 LAN について」 手順 4 (関連ページ 203)	11
7 章	「7.2.1 トップカバーの取り外し手順」 手順 7 (関連ページ 237)	12
7 章	「7.3.2 取り付け可能な CPU と留意事項」 (関連ページ 240)	12
7 章	「7.4.2 取り付け可能なメモリと留意事項」 (関連ページ 245)	12
7 章	「7.5.2 搭載可能な拡張カードと留意事項」 (関連ページ 252)	13
7 章	「7.7.3 3.5 インチ内蔵ハードディスクユニットの取り付け手順」 (関連ページ 260)	14
8 章	「8.2.8 Advanced System Configuration サブメニュー」 (関連ページ 285)	16
A	本体仕様 (関連ページ 340-342)	17
	エネルギー消費効率	20
	サポート OS	20

B.1 CPU の仕様(関連ページ 344)	21
B.2 メモリの仕様	21
B.4 内蔵ハードディスクユニットの仕様(関連ページ 346)	22
5 「RX200 S3 梱包物一覧：B7FH-A148-01」 についての補足事項	23
5.1 添付品	23
5.2 型名の確認	23
6 オプション製品の増設についての補足事項	23

1 メインボードの保守交換後の動作について

1.1 Integrated Mirroring SAS について

本サーバにオンボードで搭載されている Integrated Mirroring SAS 機能(RAID1)をご使用になっている際に、メインボードに何らかの不具合が発生しメインボード交換を行いますと、メインボード上に保存されているハードディスクドライブの整合性に関する情報が失われるために、再度データ整合性をあわせる目的でアレイドコントローラのロジカルドライブの初期化処理が必要になります。

これは過去にライトデータが正しくハードディスクに書かれたかを記録するデータ整合性の情報を、メインボード上に保存しているためです。本データはメインボード上の不揮発性 RAM(NVRAM)に保存されております。そのデータを保守ツールにより交換直前に退避し、交換後に復元することが可能です。データが正常に退避・復元ができた場合には初期化は起こりません。

しかし、装置が起動しない場合など、メインボードの不具合の内容によっては、システム上でツールを起動できず、情報を退避できない場合がございます。その場合には再度データ整合性をあわせる目的で初期化処理を行う必要があります。また、NVRAM 情報が退避・復元できた場合でも、データ整合性を確認できなかった場合には、同様に初期化処理を行う必要があります。

ここで行われるロジカルドライブの初期化処理とは、2 台のハードディスク間でバックグラウンドでデータのコピーを行いデータの整合性をあわせる動作であり、リビルド動作と同一です。

1.1.1 初期化中の留意事項について

Integrated Mirroring SAS のロジカルドライブの初期化はバックグラウンド初期化処理にて行われますので、初期化中もハードディスクヘッドドライブのアクセスは通常通り行えますが、初期化が完了したロジカルドライブと比較すると充分な I/O 処理性能が得られない場合があります。

最大で約 54%の性能低下となる場合があります。

OS 稼動中に初期化対象ハードディスクドライブの前面ハードディスク故障ランプがリビルド時と同様に点滅します。

また、ServerView がインストールされている場合には本体の前面および後面保守ランプが点灯します。初期化完了後、これらのランプは自動で消灯いたします。この場合、前面保守ランプのみでなく、ServerView コンソール等により、各種装置の状態確認を実施してください。

初期化完了前にサーバ本体のリセットや電源の切断が行われると初期化は中断されます。

次回再開時は中断したところから初期化が再開されますので、途中でリセットや切断を行っても初期化は継続されます。

初期化処理が完了するまでは RAID1 ロジカルドライブは、非冗長性の状態となっています。初期化完了が完了すると、再度冗長性が確立されます。

初期化完了は GAM ユーティリティの ControllerView よりロジカルドライブ情報を表示させることにより Status が online であることから確認できます。未完了状態は Critical となります。

下記、「初期化の完了時間の目安について」をご参照のうえ、その時間を越えても初期化処理が完了していない場合は、弊社修理相談窓口までご連絡ください。

1.1.2 初期化の完了時間の目安について

ハードディスクドライブへのアクセスがない場合、初期化の所要時間は下記の表のようになります。

これらの時間はOSが稼動しているトータル時間数で、途中で電源が切断された場合などは含みません。

ハードディスクドライブへのアクセスと並行して初期化が実行された場合には、アクセスのない状態より長い時間を要する場合があります。

		無負荷時	高負荷時
初期化	73GB	約 3 時間	約 12 時間
処理時間	147GB	約 6 時間	約 24 時間

高負荷時は常に高負荷のハードディスクアクセスをおこなった場合の完了時間を示します。

上記はあくまでも目安でお客様の環境により完了時間は前後する場合があります。

1.2 リモートマネジメントコントローラ (iRMC) の設定について

iRMC 機能をご利用のお客様は、以下の点にご注意願います。

メインボード交換後の iRMC の設定はお客様作業となります。装置の修理においてメインボード交換が生じた場合、以下の情報をお客様にて再設定をお願いいたします。また、その他の設定情報に関しても正しいかご確認をお願いいたします。

- ・リモートマネジメントコントローラアップグレード(PG-RMCU1)「ライセンスキー」登録内容(ご購入の場合のみ)

- ・「User Management」の設定

iRMC 機能を利用するため、Webインターフェース画面開設時のアカウント登録内容です。

工場出荷設定では、

ID:2 ユーザ名:admin パスワード:admin のみが登録されています。

- ・「DNS Domain」の設定

注意

iRMC の設定情報を復元するために必ず装置に添付されている「環境設定シート」に設定内容を記録し、保管していただくとともに、装置添付の「Server Management Tools」による設定情報のバックアップを行ってください。

2 コンソールリダイレクションについて

本サーバでは、SSH (Secure Shell) 接続によるコンソールリダイレクションはサポートしていません。LAN 経由のコンソールリダイレクション機能を使用される場合、SSH 接続は行わないでください。

3 USB DVD/CD-ROM ドライブ(FMV-NCB52)から Windows 2000 Server SP4 適応済 CD-ROM を使って OS をインストールする場合の留意点

留意点

USB CD ドライブから Microsoft Windows 2000 Server Service Pack 4 (SP4) 適用済 CD-ROM を使用し、OS のインストールを行うと、Windows 2000 のインストールを完了するための、再起動のタイミングで以下の STOP エラーが表示される場合があります。

STOP: 0x0000001E(0xC0000005 , 0xF3EC39F5 , 0x00000000 , 0x01010100)

KMODE_EXCEPTION_NOT_HANDLED

(現象の詳細は Microsoft 社 HP サポートオンライン: <http://support.microsoft.com/> に掲載されております。
「KB838417」を参照願います。)

この問題を回避するために、以下の手順に沿って OS のインストールを行ってください。

以下の手順を行わずに STOP エラーが表示された場合は、以下の手順に沿って OS の再インストールを行ってください。

ServerStart を使用した OS インストール手順

1. USB CD ドライブから ServerStart を起動し、ユーザーズガイド「第 3 章 ServerStart による OS のインストール」に沿って OS インストールの設定を行います。
2. 【 Windows 2000 のインストールを開始する 】 をクリックし、「ServerStart 自動インストールモード」より画面の指示に沿って各種 CD-ROM の入れ換えを行ってゆくと、最後に以下のメッセージボックスが表示されます。

システムが再起動します。
フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブから全てのディスクを取り出して下さい。
[OK]

このとき、USB CD ドライブのアクセスランプが消えていることを確認し、USB ケーブルをコネクタから抜いて、完全に USB CD ドライブをサーバからとりはずしてください。

3. USB CD ドライブをとりはずしたのち、2.のメッセージボックスの[OK]ボタンをクリックすると、サーバは自動的に再起動します。

以降、OS のインストールが自動的に開始されます。

画面の指示に沿ってインストールを行ってください。

手動での OS インストール手順

1. USB CD ドライブから、ユーザーズガイド「第 4 章 OS の手動インストール」に沿って OS インストール作業を行います。
2. OS インストール作業の最後に、以下のようなメッセージボックスが表示されます。

Windows 2000 セットアップ ウィザードの完了

Windows 2000 セットアップは完了しました。

ドライブに CD が挿入されている場合、取り除いてください。コンピュータを再起動するには、[完了]をクリックしてください。

[完了]

このとき、USB CDドライブのアクセスランプが消えていることを確認し、USBケーブルをコネクタから抜いて、完全にUSB CDドライブをサーバからとりはずしてください。

3. USB CDドライブをとりはずしたのち、2.のメッセージボックスの[完了]ボタンをクリックすると、サーバは自動的に再起動します。

以降、ユーザズガイドにしたがって、インストールを行ってください。

4 「PRIMERGY RX200 S3 ユーザーズガイド：B7FH-4351-01-00」 についての更新・訂正

1 章「1.1 RX200 S3 のご紹介」(関連ページ 16)

訂正

誤)

PC2-4200F (DDR II 533) 仕様に準拠したメモリ (Fully Buffered DIMM) による Chipkill 機能をサポートしています。

正)

PC2-4200F (DDR II 533) および PC2-5300F (DDR II 667) 仕様に準拠したメモリ (Fully Buffered DIMM) による SDDC (Single Device Data Correction) 機能をサポートしています。

2 章「2.1.1 内蔵オプションの取り付け」(関連ページ 46)

訂正

表：LAN ケーブルを接続せずにインストール (開封) する場合

誤)

使用 OS	使用環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2003 x64 ・ Windows Server 2003 (Service Pack 1 を適用する場合) ・ SBS 2003 (Service Pack 1 を適用する場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Intel® PROSet をインストール[注 1] ・ 10Mbps 半二重接続を行う

正)

使用 OS	使用環境
<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2003 x64 ・ Windows Server 2003 (Service Pack 1 を適用する場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Intel® PROSet をインストール[注 1] ・ 10Mbps 半二重接続を行う

2 章「2.2 インストール方法の選択」(関連ページ 49)

訂正

構築済みの RAID 環境を残してインストールする場合 (関連ページ 49)

誤)

ガイドモードまたは事前設定モードでインストールを行い、[RAID/ ディスクウィザード] (「RAID とディスクの構成」画面) で、「論理ドライブの表示」を選択してください。

正)

ガイドモードまたは事前設定モードでインストールを行い、[RAID/ ディスクウィザード] (「RAID とディスクの構成」画面) で、「**ディスクの表示**」を選択してください。

3章「3.2.7 OSのインストール開始」 手順3～5(関連ページ 84)

3章「3.3.4 OSのインストール開始」 手順5～7(関連ページ 92)

3章「3.4.5 OSのインストール開始」 手順4～6(関連ページ 101)

訂正

誤)

3.OSのCD-ROM をセットするようメッセージが表示されたら、OS のCD-ROMをセットし、[OK]をクリックします。

Windows 2000 Server / Windows Server 2003 / Windows Server 2003 x64 の場合

OS のCD-ROM(インストールCD-ROM)をセットしてください。

Windows Server 2003 R2 / Windows Server 2003 R2 x64 の場合

OS のCD-ROM(インストールCD-ROM)のDisc1 をセットします。Disc2 をセットするようメッセージが表示されたら、Disc1 を取り出し、OS CD-ROM(インストールCD-ROM)のDisc2 をセットしてください。

ファイルのコピーが行われ、終了後、ServerStart CD-ROM をセットするようメッセージが表示されます。

4.ServerStart Disc1 CD-ROM をセットして、[OK]をクリックします。

ライセンス契約の画面が表示されます。

5. [同意する]をクリックします。

ファイルのコピーが開始され、終了後、CD-ROM およびフロッピーディスクを取り出すようメッセージが表示されます。

正)

3.OSのCD-ROM をセットするようメッセージが表示されたら、OS のCD-ROMをセットし、[OK]をクリックします。

Windows 2000 Server / Windows Server 2003 / Windows Server 2003 x64 の場合

1.OS のCD-ROM(インストールCD-ROM)をセットします。

ライセンス契約の画面が表示されます。

2.[同意する]をクリックします。

ファイルのコピーが開始され、終了後、CD-ROM およびフロッピーディスクを取り出すようメッセージが表示されます。

Windows Server 2003 R2 / Windows Server 2003 R2 x64 の場合

1.OS のCD-ROM(インストールCD-ROM)の Disc1 をセットします。

ライセンス契約の画面が表示されます。

2.[同意する]をクリックします。

ファイルのコピーが開始され、終了後、OS CD-ROM(インストールCD-ROM)の Disc2をセットするようメッセージが表示されます。

3.Disc1を取り出し、OS CD-ROM(インストールCD-ROM)の Disc2 をセットします。

ファイルのコピーが行われ、終了後、CD-ROM およびフロッピーディスクを取り出すようメッセージが表示されます。

4 章「4.3.1 Windows Server 2003 x64 のインストール」 手順 5.3 (関連ページ 141)**訂正**

誤)

3. 以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Integrated Mirroring SAS RAID Controller Driver (Server 2003 for x64)

正)

3. 以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Fusion-MPT SAS Driver (Server 2003 x64)

4 章「4.3.2 Windows Server 2003 のインストール」 手順 5.3 (関連ページ 144)**訂正**

誤)

3. 以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Integrated Mirroring SAS RAID Controller Driver (Server 2003 32-bit)

正)

3. 以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Fusion-MPT SAS Driver (Server 2003 32-bit)

4 章「4.3.3 Windows 2000 Server のインストール」 手順 5.3 (関連ページ 147)**訂正**

誤)

3. お使いのカードにより以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Integrated Mirroring SAS RAID Controller Driver (Windows 2000)

正)

3. お使いのカードにより以下を選択し、[Enter] キーを押します。

LSI Logic Fusion-MPT Driver for SAS1068 (Windows 2000)

5章「5.3.1 BIOS 情報の退避方法」(関連ページ 173)

訂正

誤)

4 正常に BIOS 情報を退避できた場合は、以下のメッセージが表示されます。

NORMAL END

正)

4 正常に BIOS 情報を退避できた場合は、以下のメッセージが表示されます。

Success!

5章「5.3.2 BIOS 情報の復元」(関連ページ 174)

訂正

誤)

4 正常に BIOS 情報を復元できた場合は、以下のメッセージが表示されます。

NORMAL END

正)

4 正常に BIOS 情報を復元できた場合は、以下のメッセージが表示されます。

Success!

5章「5.6.3 VLAN の設定手順」 手順 6 (関連ページ 196)

訂正

誤) 6. 設定を適用するため、[適用]をクリックします。

正) 6. 設定を適用するため、[Apply]をクリックします。

5章「5.7.4 LAN について」 手順 4 (関連ページ 203)

訂正

誤) 4. 「VLAN ID」と「VLAN 名」を設定して、[OK]をクリックします。

「VLAN ID」は、スイッチ側の設定と一致する必要があります。設定可能範囲は 1 から 4096 です。

「VLAN 名」は、スイッチ側の設定と一致する必要はありません。

正) 4. 「VLAN ID」と「VLAN 名」を設定して、[OK]をクリックします。

「VLAN ID」は、スイッチ側の設定と一致する必要があります。設定可能範囲は **1 から 4094** です。

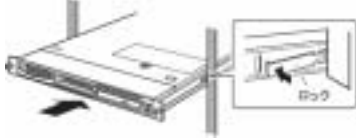
「VLAN 名」は、スイッチ側の設定と一致する必要はありません。

7章「7.2.1 トップカバーの取り外し手順」 手順7 (関連ページ 237)

訂正

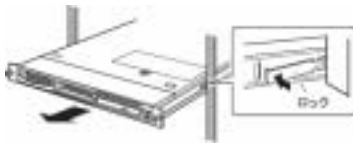
誤)

7. 左右のロックを**引き**ながらサーバ本体を少し引き出して、ロックを解除します。



正)

7. 左右のロックを**押し込み**ながらサーバ本体を少し引き出して、ロックを解除します。



7章「7.3.2 取り付け可能な CPU と留意事項」(関連ページ 240)

表：取り付け可能な CPU 一覧

品名	型名
Xeon プロセッサ 5050 (3GHz/2 × 2MB)	PG-FG31M
Xeon プロセッサ 5060 (3.20GHz/2 × 2MB)	PG-FG31N
Xeon プロセッサ 5080 (3.73GHz/2 × 2MB)	PG-FG31P
Xeon プロセッサ 5110 (1.60GHz/4MB)	PG-FG31R
Xeon プロセッサ 5130 (2GHz/4MB)	PG-FG31S
Xeon プロセッサ 5148 (2.33GHz/4MB)	PG-FG31V
Xeon プロセッサ 5160 (3GHz/4MB)	PG-FG31T

7章「7.4.2 取り付け可能なメモリと留意事項」(関連ページ 245)

表：取り付け可能なメモリ一覧

品名	型名	備考
拡張 RAM モジュール-1GB	PG-RM1CD	512MB DDR2-533 FB-DIMM × 2 枚
拡張 RAM モジュール-2GB	PG-RM2CD	1GB DDR2-533 FB-DIMM × 2 枚
拡張 RAM モジュール-4GB	PG-RM4CD	2GB DDR2-533 FB-DIMM × 2 枚
拡張 RAM モジュール-1GB	PG-RM1CE	512MB DDR2-667 FB-DIMM × 2 枚
拡張 RAM モジュール-2GB	PG-RM2CE	1GB DDR2-667 FB-DIMM × 2 枚
拡張 RAM モジュール-4GB	PG-RM4CE	2GB DDR2-667 FB-DIMM × 2 枚



DDR2-667 のモジュールは Xeon プロセッサ 5050、5060、5080 を搭載するモデルには使用できません。

7 章「7.5.2 搭載可能な拡張カードと留意事項」(関連ページ 252)**訂正**

基本カードスロット変換機構時
表：標準搭載時搭載可能拡張カード

誤) PG-2861
正) PG-2861L

7章「7.7.3 3.5 インチ内蔵ハードディスクユニットの取り付け手順」(関連ページ 260)

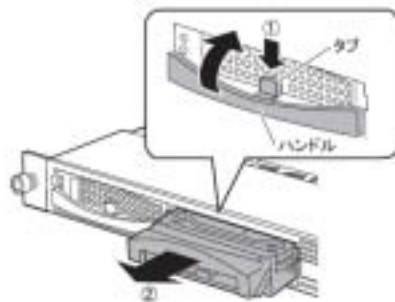
訂正

誤)

第7章 内蔵オプションの取り付け

4 内蔵ハードディスクユニットを取り外します。

内蔵ハードディスクユニットの前面のタブを押しながらハンドルを上げて (①)、手前に引き出す (②)。そのとき、内蔵ハードディスクユニットに手を添え、両手で持って引き出してください。



5 新しい内蔵ハードディスクユニットまたはダミーユニットを取り付けます。

→「7.7.3 3.5 インチ内蔵ハードディスクユニットの取り付け手順」(P.260)

■ 内蔵ハードディスクユニットの取り外し手順

1 ラックドアを開けます。

→「1.4.1 ラックドアを開ける」(P.33)

2 サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルをサーバ本体から取り外します。

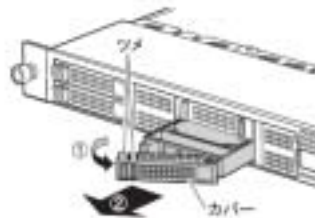
→「1.4.3 電源を切る」(P.37)

3 サーバ本体の金属部分に触れて、人体の静電気を放電します。

4 内蔵ハードディスクユニットを取り外します。

ツメを押しながら、カバーを開けて (①)、内蔵ハードディスクユニットを引き出します (②)。

内蔵ハードディスクユニットに手を添え、両手で持って引き出してください。



5 新しい内蔵ハードディスクユニットまたはダミーユニットを取り付けます。

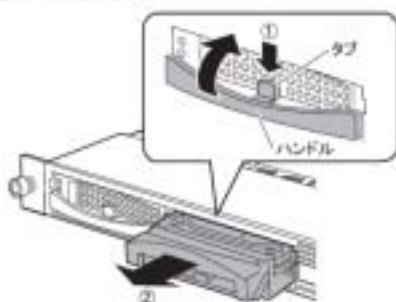
→「7.7.3 3.5 インチ内蔵ハードディスクユニットの取り付け手順」(P.260)

正)

第7章 内蔵オプションの取り付け

4 内蔵ハードディスクユニットを取り外します。

内蔵ハードディスクユニットの前面のタブを押しながらハンドルを上げて (①)、手前に引き出す (②)。そのとき、内蔵ハードディスクユニットに手を添え、両手で持って引き出してください。

**5** 新しい内蔵ハードディスクユニットまたはダミーユニットを取り付けます。

→ 「7.7.3 3.5 インチ内蔵ハードディスクユニットの取り付け手順」 (P.260)

8 章「8.2.8 Advanced System Configuration サブメニュー」(関連ページ 285)

表：Advanced System Configuration サブメニュー画面の項目説明

訂正

誤)

項目	設定値	説明
Hyper-Threading	<ul style="list-style-type: none"> ・ Disabled (ご購入時) ・ Enabled 	1 つの CPU を論理的に 2 つの CPU として運用するかどうかの設定です。この設定を有効にすると、CPU の内部資源を有効に使用することにより、パフォーマンスが向上する場合があります。

正)

項目	設定値	説明
Hyper-Threading	<ul style="list-style-type: none"> ・ Disabled (ご購入時) ・ Enabled 	1 つの CPU を論理的に 2 つの CPU として運用するかどうかの設定です。この設定を有効にすると、CPU の内部資源を有効に使用することにより、パフォーマンスが向上する場合があります。 この項目は CPU の種類によっては表示されません。

追加

Advanced System Configuration サブメニューの[Limit CPUID Functions]と[CPU Halt Mode]の間に以下の項目が追加となります。

項目	設定値	説明
CPU Thermal Management	Enhanced (変更禁止)	CPU の温度制御に関する設定です。この項目は CPU の種類によっては表示されません。

A 本体仕様(関連ページ 340-342)

表：ディスクレスタイプ

項目		機能・仕様			
型名		PGR2031AA	PGR2031AA3	PGR2033AA	PGR2039AA
CPU	標準	Xeon プロセッサ 5050(3GHz/2x2MB)		Xeon プロセッサ 5110(1.60GHz/4MB)	Xeon プロセッサ 5148(2.33GHz/4MB)
	変換	Xeon プロセッサ 5060(3.2GHz/2x2MB) Xeon プロセッサ 5080(3.73GHz/2x2MB) Xeon プロセッサ 5130(2GHz/4MB) Xeon プロセッサ 5160(3GHz/4MB)	不可	Xeon プロセッサ 5130(2GHz/4MB) Xeon プロセッサ 5160(3GHz/4MB)	不可
	マルチ数	1(最大 2)			
	メモリ	1GB (512MB DDR2-533 FBD × 2 枚)		1GB (512MB DDR2-667 FBD × 2 枚)	
	増設単位	512MB / 1GB / 2GB × 2			
	最大容量	16GB (2GB DIMM × 8 スロット)			
ビデオ RAM 容量		1.7MB			
グラフィックス		VGA チップ：iRMC に内蔵 640 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色：解像度、OS などによって異なる			
CD-ROM ドライブベイ		1 ベイ (オプション) 種類：24 倍速 ATAPI CD-ROM ユニット/ DVD-RAM ユニット			
標準ストレージベイ		3.5"x2 ベイ、SAS、ホットプラグ			
	増設単位	73.4GB (15krpm) /146.8GB (15krpm)			
	最大	293.6GB (146.8GB × 2)			
拡張スロット	標準	PCI-X スロット (64bit / 100MHz、Low Profile) × 1 PCI-X スロット (64bit / 133MHz、Full Height、Half length/LowProfile) × 1			
	変換	PCI-X スロット (64bit / 100MHz、Low Profile) × 1 PCI-Express x8 スロット (Full Height) × 1			
フロッピーディスクドライブ		オプション (USB フロッピーディスクドライブ)			
インタフェース		LAN (1000BASE-T) × 2 (ベースボード標準搭載) シリアル× 1、 パラレル× 1 (オプション) キーボード、マウス、ディスプレイ、USB × 4			
キーボード/マウス		オプション			
外形寸法 (単位：mm)		横幅 430 (482) ×奥行き 730 (774) ×高さ 43.5 (占有ユニット 1U) () 内は突起物を含めた寸法			
質量		最大約 20kg			
内蔵時計精度		誤差 2 ～ 3 分/月			
消費電力		630W/2268kJ/h			
電源		AC100V (50/60Hz) / 二極接地型			
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源オプション)			
ファン		システムファン：8 個 (冗長)			
エネルギー消費効率		「 エネルギー消費効率」(p.20) 参照			
サポート OS		「 サポート OS」(p.20) 参照			

本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

表：OS インストールタイプ

項目		機能・仕様			
Windows Server 2003 R2 インストールタイプ		PGR2031GS	PGR2031GS3	PGR2033GS	PGR2039GS
Windows Server 2003 R2 x64 Edition インストール タイプ		PGR2031GV	PGR2031GV3	PGR2033GV	PGR2039GV
Linux インストール代行 サービスバンドルタイプ		PGR2031GL	PGR2031GL3	PGR2033GL	PGR2039GL
CPU	標準	Xeon プロセッサ 5050(3GHz/2x2MB)		Xeon プロセッサ 5110(1.60GHz/4MB)	Xeon プロセッサ 5148(2.33GHz/4MB)
	変換	Xeon プロセッサ 5060(3.2GHz/2x2MB) Xeon プロセッサ 5080(3.73GHz/2x2MB) Xeon プロセッサ 5130(2GHz/4MB) Xeon プロセッサ 5160(3GHz/4MB)	不可	Xeon プロセッサ 5130(2GHz/4MB) Xeon プロセッサ 5160(3GHz/4MB)	不可
	マルチ数	1(最大 2)			
	メモリ	1GB (512MB DDR2-533 FBD × 2 枚)		1GB (512MB DDR2-667 FBD × 2 枚)	
メモリ	増設単位	512MB / 1GB / 2GB × 2			
	最大容量	16GB (2GB DIMM × 8 スロット)			
	ビデオ RAM 容量	1.7MB			
グラフィックス		VGA チップ：iRMC に内蔵 640 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色：解像度、OS などによって異なる			
CD-ROM ドライブベイ		1 ベイ (オプション) 種類：24 倍速 ATAPI CD-ROM ユニット/ DVD-RAM ユニット			
標準ストレージベイ		3.5"x2 ベイ (標準搭載ハードディスクを含む) SAS、ホットプラグ			
	標準	73.4GB (15krpm) × 1			
	増設単位	73.4GB (15krpm) /146.8GB (15krpm)			
	最大	293.6GB (146.8GB × 2)			
ディスクアレイ		RAID1(オンボード SAS アレイコントローラ)			
拡張スロ ット	標準	PCI-X スロット (64bit / 100MHz、Low Profile) × 1 PCI-X スロット (64bit / 133MHz、Full Height、Half length/LowProfile) × 1			
	変換	PCI-X スロット (64bit / 100MHz、Low Profile) × 1 PCI-Express x8 スロット (Full Height) × 1			
フロッピーディスク ドライブ		オプション (USB フロッピーディスクドライブ)			
インタフェース		LAN (1000BASE-T) × 2 (ベースボード標準搭載) シリアル× 1、 パラレル× 1 (オプション) キーボード、マウス、ディスプレイ、USB × 4			
キーボード/マウス		オプション			
外形寸法 (単位 : mm)		横幅 430 (482) ×奥行き 730 (774) ×高さ 43.5 (占有ユニット 1U) () 内は突起物を含めた寸法			
質量		最大約 20kg			
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分/月			
消費電力		630W/2268kJ/h			
電源		AC100V (50/60Hz) / 二極接地型			
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源オプション)			
ファン		システムファン：8 個 (冗長)			
エネルギー消費効率		「 エネルギー消費効率」(p.20) 参照			
サポート OS		「 サポート OS」(p.20) 参照			

本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

表：アレイタイプ

項目		機能・仕様			
Windows Server 2003 R2 アレイタイプ		PGR20317S	PGR20314S	PGR20337S	PGR20334S
Linux インストール代行 サービスバンドルタイプ /アレイ		PGR20317L	PGR20314L	PGR20337L	PGR20334L
CPU	標準	Xeon プロセッサ 5050(3GHz/2x2MB)		Xeon プロセッサ 5110(1.60GHz/4MB)	
	変換	Xeon プロセッサ 5060(3.2GHz/2x2MB) Xeon プロセッサ 5080(3.73GHz/2x2MB) Xeon プロセッサ 5130(2GHz/4MB) Xeon プロセッサ 5160(3GHz/4MB)		Xeon プロセッサ 5130(2GHz/4MB) Xeon プロセッサ 5160(3GHz/4MB)	
	マルチ数	1(最大 2)			
メモリ	標準	1GB (512MB DDR2-533 FBD × 2 枚)		1GB (512MB DDR2-667 FBD × 2 枚)	
	増設単位	512MB / 1GB / 2GB × 2			
	最大容量	16GB (2GB DIMM × 8 スロット)			
ビデオ RAM 容量		1.7MB			
グラフィックス		VGA チップ: iRMC に内蔵 640 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色: 解像度、OS などによって異なる			
CD-ROM ドライブベイ		1 ベイ (オプション) 種類: 24 倍速 ATAPI CD-ROM ユニット/ DVD-RAM ユニット			
標準ストレージベイ		3.5"x2 ベイ (標準搭載ハードディスクを含む) SAS、ホットプラグ			
	標準	73.4GB (15krpm) × 2	146.8GB (15krpm) × 2	73.4GB (15krpm) × 2	146.8GB (15krpm) × 2
	増設単位	73.4GB (15krpm) /146.8GB (15krpm)			
	最大	293.6GB (146.8GB × 2)			
ディスクアレイ		RAID1(オンボード SAS アレイコントローラ)			
拡張スロ ット	標準	PCI-X スロット (64bit / 100MHz、Low Profile) × 1 PCI-X スロット (64bit / 133MHz、Full Height、Half length/LowProfile) × 1			
	変換	PCI-X スロット (64bit / 100MHz、Low Profile) × 1 PCI-Express x8 スロット (Full Height) × 1			
フロッピーディスク ドライブ		オプション (USB フロッピーディスクドライブ)			
インタフェース		LAN (1000BASE-T) × 2 (ベースボード標準搭載) シリアル× 1、 パラレル× 1 (オプション) キーボード、マウス、ディスプレイ、USB × 4			
キーボード/マウス		オプション			
外形寸法 (単位 : mm)		横幅 430 (482) ×奥行き 730 (774) ×高さ 43.5 (占有ユニット 1U) () 内は突起物を含めた寸法			
質量		最大約 20kg			
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分/月			
消費電力		630W/2268kJ/h			
電源		AC100V (50/60Hz) / 二極接地型			
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源オプション)			
ファン		システムファン: 8 個 (冗長)			
エネルギー消費効率		「 エネルギー消費効率」(p.20) 参照			
サポート OS		「 サポート OS」(p.20) 参照			

本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

エネルギー消費効率

エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

Xeon プロセッサ 5050: c 区分、0.0105
Xeon プロセッサ 5060: c 区分、0.0096
Xeon プロセッサ 5080: c 区分、0.0093
Xeon プロセッサ 5110: c 区分、0.00993
Xeon プロセッサ 5130: c 区分、0.00476
Xeon プロセッサ 5148: c 区分、0.00685
Xeon プロセッサ 5160: c 区分、0.00714

サポート OS

本サーバでのサポート OS は以下のとおりです。

- ・ Windows Server 2003, Standard Edition
- ・ Windows Server 2003, Enterprise Edition
- ・ Windows Server 2003, Standard x64 Edition
- ・ Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition
- ・ Windows Server 2003 R2, Standard Edition
- ・ Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition
- ・ Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition
- ・ Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition
- ・ Windows 2000 Server
- ・ Windows 2000 Advanced Server
- ・ Red Hat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)
- ・ Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- ・ Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 9 for x86

B.1 CPU の仕様(関連ページ 344)

表：CPU 仕様

項目	機能・仕様						
品名	Xeon プロセッサ 5050 (3GHz/2× 2MB)	Xeon プロセッサ 5060 (3.20GHz/2× 2MB)	Xeon プロセッサ 5080 (3.73GHz/2× 2MB)	Xeon プロセッサ 5110 (1.60GHz/4MB)	Xeon プロセッサ 5130 (2GHz/4MB)	Xeon プロセッサ 5148 (2.33GHz/4MB)	Xeon プロセッサ 5160 (3GHz/4MB)
型名	PG-FG31M	PG-FG31N	PG-FG31P	PG-FG31R	PG-FG31S	PG-FG31V	PG-FG31T
動作クロック周波数	3GHz	3.20GHz	3.73GHz	1.60GHz	2GHz	2.33GHz	3GHz
内蔵2次キャッシュサイズ	2×2MB	2×2MB	2×2MB	4MB	4MB	4MB	4MB
FSB	667MHz	1066MHz	1066MHz	1066MHz	1333MHz	1333MHz	1333MHz

B.2 メモリの仕様

表：メモリ仕様

項目	機能・仕様					
品名	拡張 RAM モジュール-1GB	拡張 RAM モジュール-2GB	拡張 RAM モジュール-4GB	拡張 RAM モジュール-1GB	拡張 RAM モジュール-2GB	拡張 RAM モジュール-4GB
型名	PG-RM1CD	PG-RM2CD	PG-RM4CD	PG-RM1CE	PG-RM2CE	PG-RM4CE
構成部品	512MB DDR2 533 FBD × 2	1GB DDR2 533 FBD × 2	2GB DDR2 533 FBD × 2	512MB DDR2 667 FBD × 2	1GB DDR2 667 FBD × 2	2GB DDR2 667 FBD × 2
容量	1GB	2GB	4GB	1GB	2GB	4GB
動作クロック周波数	533MHz			667MHz		
ピン数	240 ピン					

B.4 内蔵ハードディスクユニットの仕様(関連ページ 346)

表：3.5 インチ内蔵ハードディスクユニット仕様

項目	機能・仕様	
型名	PG-HDB75A	PG-HDB45A
インタフェース	SAS (Serial Attached SCSI)	
記憶媒体	3.5 インチハードディスク	
記憶容量 [注 1]	73.4GB	146.8GB
最大データ転送速度	3Gbit/s	
平均回転待ち時間	2.0ms	
回転数	15,000rpm	
省エネ法に基づくエネルギー消費 効率 [注 2]	0.16W/GB (区分 e)	0.08W/GB (区分 f)
外形寸法 (W × D × H)	101.6mm x 146.0mm x 25.4mm	
質量 [注 3]	0.8kg	

5 「RX200 S3 梱包物一覧：B7FH-A148-01」 についての補足事項

5.1 添付品

梱包物一覧には記載がありませんが、本製品には全タイプ共通で『環境設定シート』（紙）が1部添付されています。障害復旧や定期保守の円滑化のために、お客様のシステム構成を記録していただくようお願いいたします。

なお、ドキュメント&ツール CD に格納されている電子データの環境設定シートは最新ではありません。最新情報は、上述の紙の環境設定シート、および、下記の URL にて提供されています。環境設定シートご記入の際は、これらの最新の環境設定シートをご使用くださいますようお願いいたします。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/manual/rx200s3.html>

5.2 型名の確認

型名の9文字目によってタイプを判別し、以下のタイプ別添付品がそろっていることを確認してください。

添付品の名称	型名の9文字目			
	V	S	L	A
Windows Server 2003 R2 x64（一式） 注：Windows Server 2003 R2 x64 を再インストールする際は、添付の「インストール CD-ROM」を使用してください。		-	-	-
Windows Server 2003 R2（一式） 注：Windows Server 2003 R2 を再インストールする際は、添付の「インストール CD-ROM」を使用してください。	-		-	-
Linux（一式）	-	-		-

：添付されています

-：添付されていません

6 オプション製品の増設についての補足事項

PRIMERGY を安定してご使用いただくため、オプション製品（内蔵/外付けオプションおよび USB 機器等）の増設時は、システム構成図に記載されている製品を使用してください。弊社指定以外のオプション製品をご使用いただく場合、弊社において、サーバ製品の動作保証は一切しかねますので、ご注意願います。

以上